



発行者 ■ 西東京・生活者ネットワーク



発行責任者/渡辺 嘉津子 発行日/2015年8月1日
〒202-0015 西東京市保谷町6-25-1-102
FAX/042-410-0014 E-mail/nshitokyo@seikatsusha.net

TEL 042-453-4121



公園をまちづくりの舞台に

公園は、市民の憩いの場であり、子どもたちにとっては貴重な外遊びの場でもあります。市内には、ほとんど使われていない公園もあります。どうしたらみんなが利用しやすく、地域で守り育てる公園づくりを進めていけるか、事例をもとに考えます。

市民活動が公園を支えている

市が管理している公園は、現在約250か所あり、樹木の剪定や清掃管理などを行っています。そのうち約60か所の公園で、市民が花壇や雑木林の管理・清掃など、オープンガーデン、みどりの散策路めぐりなど、さまざまな「市民協働」の取り組みが行われています。

一方西東京市では、来年度から西東京市この森公園とその周辺の市立公園で、指定管理者制度を導入することになりました。今後「市民協働」の更なる土壌作りが促進されるのか点検が必要です。

行政にお任せだけでは解決しない

市民には多様なニーズがあり、異なる意見を持つ者同士が、この地域にふさわしい公園のあり方について、お互いに意見を交わしあい、合意づくりを進める必要があります。

公園のペットの糞に困った住民が話し合い、市に相談し、市と市民とが協働でチラシを配った結果、苦情がなくなったそうです。行政が対応できることには限界があります。地域の住民が、話しあいのできる関係になり、みんなで一緒に取り組むことが問題を解決することにつながった例と言えます。

すすめよう 「住民参加の公園づくり」

ひばりヶ丘に新しく設置される緑道公園では、現在地域懇談会が開かれ、地域の皆さんと公園の整備について話し合われています。

まちづくりには、市民同士が多様な意見をぶつけ合いながら合意形成していくことが大事です。子どもが思いっきり遊べる公園、コミュニティの防災拠点となる公園など地域のニーズを出し合い、時には汗をかきながら、公園を私たちのまちづくりの舞台として積極的に活用していきたいと考えます。



◇青嵐台公園

花の会のメンバーが花壇の管理をしています



◇芝久保三丁目ふれあい公園

ボール遊びのできる公園は市内に4ヶ所だけ。子どもたちが思いっきりボール遊びができる公園がもっとたくさんできたらいいな～



◇ecoひろば

鎮守台自治会が住民の力で自治会の活動拠点に！今ではみんなが顔見知りになり、人のつながりができました。

写真は7/11に行われた七夕まつりの様子

傍聴会記

原発再稼働に反対し、原発ゼロへの政策転換を求める意見書を国に提出してほしいという請願を、19の市民団体が行った。請願は企画総務委員会に付託され、後藤・かとう両議員が請願の紹介議員として委員の質問に答えるのを、15人ほどの傍聴者に交じって傍聴した。

原発をいざれゼロにすることに賛成と言いつつ、エネルギー政策を感情で判断してはならない、当分は原発が必要という立場の委員とは、議論をかみ合わせることは難しい。これは、「当分」稼働している間に事故が起きたら——という命題への認識

原発再稼働反対にかみ合わない議論

の事故確率は「0」でなくてはならず、0にするには稼働しないこと以外にない。これは、感情論ではなく、「福島」を経験し、今なお多くの人が避難生活を強いられ、損害賠償や除染・中間貯蔵施設建設などに既に10兆円を投じている事実を見据えた極めて現実主義的見解だと思いが、その認識

よほど税の最適配分であろう。来年には電力会社を選べるようになる。市民サイドとしては、原発によらない電力会社を選択することで原発ゼロを促進していきたい。(金尾敏恵)

〈本会議での請願反対は 自民、公明、民主、維新、次世代〉

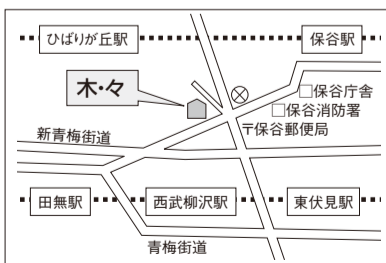
あきらめない!! 安保法案を廃案に!

憲法の縛りを受ける者が、憲法違反の法案をつくり、これまた、憲法の順守義務のある国会議員が、強行採決で法案を可決。こんなことが許されるのは、独裁国家だけ。戦後の民主主義を壊す安倍政治はNO!

次は参議院での審議。**みんなの力で廃案に!**



★6/14都内一斉行動日に田無駅前でもチラシ配りと署名活動。若い人たちがたくさん署名をしてくれました
★7/15特別委員会の強行採決後の国会前集會に参加



8月30日(日) 11:30~14:00
子ども無料、おとな300円
コミュニティレストラン「木・々」
(西東京市保谷町6-25-1-1F)
TEL 042-425-6800

一人でも来て大丈夫! 先生になつてくれる方、食材などのカンパも大歓迎です。

地域の子どもや親を支える居場所として7月にスタート。楽しくワイワイご飯を食べたり、遊んだりする場です。次回は夏休み最後の日曜日、いっしょに宿題の追いこみませんか?

街角 木々子ども食堂 オープン!